

1 年探究科学科 探究基礎Ⅱ報告

◇期 日：9月9日(月)～2月6日(木)の毎週月・木曜日

◇場 所：図書館・化学実験室・各教室

◇参加者：1年探究科学科生徒79名

2学期から始まったSS基幹探究の探究基礎Ⅱは、国語、数学、理科、地歴、英語の5教科の学習を通して「課題発見力」「仮説設定力」「計画力・実証力」「考察力」「表現力」の5つの力を身に着けることを目的としている。

国語では、松尾芭蕉の『奥の細道』越中路の記述と旅に随行した曾良の日記を併せて読み、江戸時代の富山県の地図に落とし込み、芭蕉たちのとったルートを考察した。自分たちもよく知る地名が出てきて、遠い存在だと思っていた芭蕉たちに親近感がわいた。

数学では、 x^{n-1} の因数分解の法則を探し、それを班ごとに証明した。普段の授業ではできない内容であったため、自分たちが思っていたような規則性を見つけることができず苦戦した。

理科では、渦電流について考察した。渦電流の大きさを決める要因を各班で仮説を設定し実験した。磁石と金属管に生じる渦電流の大きさについて、金属や磁界に注目して考察でき、楽しかった。

地歴では「ふるさと富山」のテキストを用いて、富山県にゆかりのある人物や物事や歴史について調べた。調べ学習を通して新たな富山県と物事とのつながり、ゆかりのある人物を知ることができた。また、テーマに対してどう深掘りしていくかといった課題発見力も高めることができた。

英語では、現代の多様な話題について、班毎に調査・発表を行った。発表会では資料作成から質疑応答までのすべてが英語で行われるので、多くの生徒が難しさを感じていたようだったが、今後経験するかもしれない海外研修や留学などに活かすことができる活動であった。

いずれの科目でも普段は扱うことのない内容であったため、通常の授業と比べると苦戦することも多かったが、探究基礎Ⅱの授業で身につけた力を、来年から始まるSS発展探究での課題研究に生かしていきたい。

